



まさかず かくま正一通信

(No.22)

ごあいさつ



皆様こんにちは。いつも温かいご支援を賜り心より感謝申し上げます。

4月から新年度がスタートし、学校や企業、役所に行きますと、新入生や新社会人に会い、とても清新な感じがいたします。

さて、安倍内閣は、「物事を決めていく内閣」として高い支持率を維持しております。また、デフレ脱却のための大胆な金融緩和政策と大型の財政政策が功を奏し、地方の景気も回復の動きがあるようです。今後は雇用増加や給料アップ等の实体经济の改善につながっていくよう強く願うものです。

私は、この度、自民党議員会の会長に就任しました。会長の仕事は、個性と実力のある30人の県議の総合力を発揮する事だと考えます。行動の柱は2つで、1つは、選挙で自民党が勝利する点、もう1つは、県民が幸せに思う県づくりのための政策をきちんと打ち出す点です。

また、所属の委員会は、農林水産委員会から教育警務委員会に変わりました。「人づくり」と「安心・安全確保」という重要なテーマを議論できる委員会に所属できて、とても嬉しく思います。

特に、生徒と先生の出会いは運命的なものです。だからこそ、先生の存在が重要で大きいと言えます。「富山県に素晴らしい先生がいっぱいいる」、そのような県を目指して議論していきたいと思えます。

私は、与えられた様々な機会に感謝の念を持って、しっかりと取り組んでまいり所存です。何卒、皆様のご指導と叱咤激励を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

平成25年4月

鹿熊 正一

『かくま正一通信 (No.21)』以後の私の活動の一端を報告いたします。
皆様からご意見やご提言をお寄せ頂ければ幸いです。

富山県産米の食味ランキング「特A」復帰を

3月1日に開催された農林水産委員会で、2012年産米の食味ランキング（一般財団法人日本穀物検定協会発表）において、富山県産コシヒカリが昨年に続き「特A」にランクされなかった事（平成13年度までは7年連続「特A」、しかし14年度から連続して「A」ランクどまり）について質問した。



背景として、①米の産地間競争が激化する中で、「特A」評価は競争力になる事、②石川県産コシヒカリが21年ぶりに「特A」に返り咲き、福井県の2銘柄が初めて「特A」を獲得する等北陸の米が躍進している事、③昨年6月議会で農林水産部長が「特Aがとれるよう努力したい」と答弁している事等。

質問のポイントは、どのように取り組んできたのか、今回の結果をどう受け止め今後「特A」復帰に向けどのように取り組みを強化するのか、という点。農産食品課長の答弁は、「特A」復帰に向けた具体的方針が述べられ、復帰への強い気持ちが伝わる答弁であった。質問と答弁の詳細は、富山県議会HPを参照して下さい。

平成25年3月県議会の開会 — 予算審議はじまる —

3月4日、平成25年度予算を審議する3月県議会定例会が開会した。

予算規模は5,450億円余（対前年比△0.9%）であるが、24年度2月補正を合わせた14カ月予算は5,871億円（14カ月予算と比較すると対前年比5.4%増）となり、国の大型補正予算を最大限活用し、「北陸新幹線開業対策」と「元氣とやまの創造」を2つの柱とする積極予算と言える。

知事の提案理由説明の中から、3点取り上げる。

1) 本年は、明治16年に富山県が誕生してから置県130

年にあたる節目の年であり、5月9日を「県民ふるさとの日」と定める条例を提案する。

2) 本県の豊かで清らかな水資源を維持保全し、将来の世代へと継承していくことを目的とする「水源地域保全条例」を提案する。

3) 昨年議員提案で成立した「富山県がん対策推進条例」に基づき、多くの事業が予算化された。①がん分野の認定看護師養成のための教育課程設置に対する支援、②地域統括相談支援センターの設置、③がん経験者による「ピア・サポーター」の養成、④がん検診受診率向上に向けた市町村の取組み支援、等。

心身ともに健康なまちづくりを目指して

3月5日、MOA議員連盟と明社会の合同会議が開催された。



明社会の皆さんは、『心身共に健康な地域社会を創ろう』との

目標をもって、各地区で活躍しておられる。私が会長を務めるMOA議員連盟は、同じ目標をもって議会活動をし、また各地区で明社会の皆さんと一緒に活動している議員の集まりである。

会議では、食育活動、美術文化活動、健康相談、自然農法活動等の報告があった。私は、各地区で行われている小学生を対象とした「MOA美術館全国児童作品展」や「お花とお茶の伝統文化活動」は、素晴らしい情操教育だと思う。

このような有益な活動が『健康なまちづくり』に進展していくには、行政のトップリーダーの理解と手腕が大切である。私達議員連盟が、各地区で活動しておられる明社会の皆さんと県行政や各市町村との橋渡しの役目を果たすことも大事な任務だと思う。そして、私は、議会で、食育や有機農業の推進、美術・文化の普及、医療の充実等にこれからも積極的に取り組んでいきたいと思う。

政策力を磨く勉強会

県議会は3月定例会中に自民党議員会は、10時からの本会議の前やお昼の休憩時に、約1時間で勉強会を開催した。



第1回 3月6日 「本県の新年度の観光振興策について」
講師：県観光・地域振興局次長の小城慎治氏

第2回 3月8日 「地域の漁業を持続的に発展させる方程式」

講師：三重大学生物資源学部准教授の勝川俊雄氏

第3回 3月13日 「富山大学における社会連携と大学コンソーシアム富山の準備状況」

講師：富山大学副学長の丹羽 昇氏

政策づくりは、私達の大切な任務である。そのためには、現場を知ることと様々な情報・知識を得ることが必要だ。勉強会で得た情報や知識を更に掘り下げ、議員個人や自民党議員会としての政策提言につなげる、そのような活動を私達はこれからも継続していく。

防災について学ぶ

～正しく学び、正しく恐れる～

3月16日、富山大学大学院教授、竹内章氏の「朝日町周辺における地震と津波について」の講演を聴講した。大変勉強になった。幾つかポイントを記す。



- 1) 魚津断層帯に続く宮崎・糸魚川断層帯について国による早期の調査が必要である。これらが連動すればM8クラスの地震が想定され、朝日町、入善町、次いで氷見市への津波高予測は4m～5.5mとなる。
- 2) 南海トラフの海溝型地震に連動して、糸魚川・静岡構造線活断層帯の地震、それに連動する宮崎・糸魚川断層帯地震、この連動型地震は要注意。
- 3) 富山トラフでの地震の最大の課題は、津浪到達時間が短い事。

- 4) 地域地域の実情に合った、防災勉強会と図上訓練が是非必要、県は講師派遣等の支援を積極的にすべき。

地域医療の再生について学ぶ

3月28日、PHP地域経営塾に参加し、城西大学経営学部教授の伊関友伸氏(写真)の「地域医療再生に必要なこと」と題する講義を聴いた。



伊関氏は、全国の公立病院の経営実態に詳しく、富山県にも度々来県しておられる。朝日町立あさひ総合病院についても詳しい。

多くの事を学んだ中で、特に次の点は、今後、調査を進めたいと思う。

- 1) 病院機能の再編 ⇒ 医師を中核的な病院に集める(医療の高度・専門化に対応)
- 2) 地域で「医師を育てる」
- 3) 高齢化する中で総合医・家庭医の必要性 ⇒ 地域の病院で「総合医」を育てる取組み

【参考事例：①静岡家庭医養成プログラム ②福井県高浜町の寄付講座 ③北海道松前町立松前総合病院の総合医の養成】

- 4) 絶対的な医療資源不足 ⇒ 医療・福祉・健康づくりの連携が必要
- 5) 住民意識の変革が必要 ⇒ かかりつけ医を持つ、健康知識を持つ

陸上自衛隊富山駐屯地の機能強化に向けた要請活動

4月10日、富山県自衛隊支援議員連盟(会長：米原県議)は、「陸上自衛隊富山駐屯地の拡張及び周辺地域の道路整備について」の



要請活動を、石破茂党幹事長、佐藤正久防衛政務官、小野寺五典防衛大臣等に行った。私も、議連メンバーとして参

加した。北朝鮮のミサイル発射の動きのある緊迫した中であったが、3氏ともしっかり対応して頂き、26年度防衛予算に調査費が計上される可能性が高いとの感触を得た。

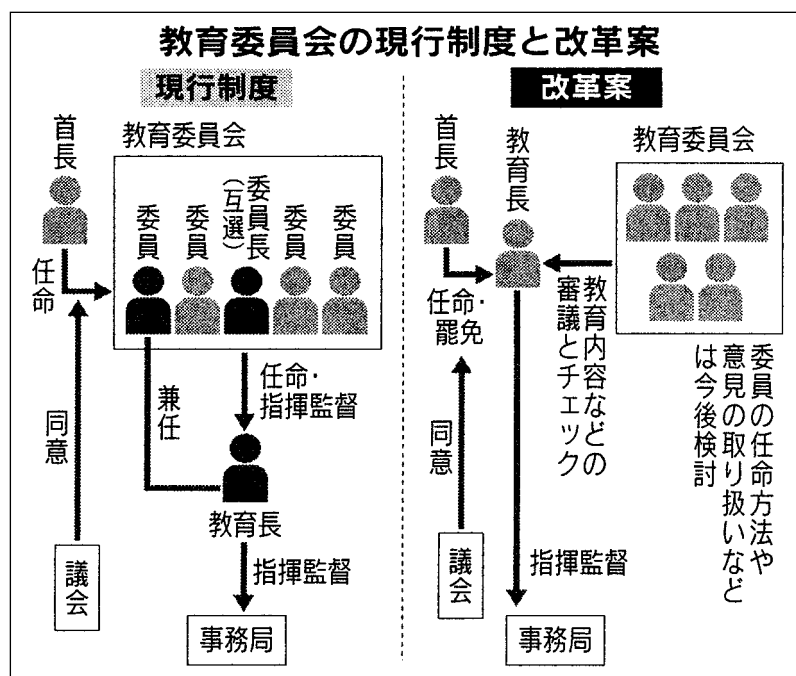
当駐屯地は、日本海側の防衛基地の1つとして、また自然災害時の救命救助活動等の拠点として、その機能を果た

すには、大型ヘリコプターの離発着や大型車両の駐屯地への進入に大きな制約がある。これは、富山県民はじめ近接地の国民の生命・財産の安全確保にとり大変深刻な問題である。今回の要請活動がこれらの実現につながる事を強く願う。

教育委員会制度改革について考えてみましょう

4月15日、政府の教育再生実行会議が教育委員会制度改革について提言

首長が教育長任命・罷免



平成25年4月16日付 日本経済新聞より

私は、この改革については、地方の声を踏まえ様々な観点からの議論が必要であると考えます。

論点

- ① 首長と教育長との連携強化による中立性への懸念について
- ② 教育長をチェックする教育委員会の権限の程度について
- ③ そもそも現在の教育委員会制度の問題点は何かについて

熊正会からお知らせ

熊正会は鹿熊正一県議を資金面で支援する資金管理団体です。鹿熊県議の政治活動並びに後援会活動が一層充実し活発になりますよう皆様の温かいご支援を心からお願い申し上げます。年会費は、個人、法人とも一口5,000円からです。お問い合わせ等は鹿熊正一事務所までご連絡下さい。

かくま正一通信 (No.22)

発行日 平成25年4月
 発行者 熊正会・自由民主党富山県議会議員会
 事務所 〒939-0742 下新川郡朝日町沼保1173-1 TEL 0765-82-1333 FAX 0765-82-2113
 正一メールアドレス masakazu@kakuma.net

「かくま正一通信」は資源保護のため再生紙を使用しています。